

「やまなか傷害予防道場」では、皆様（門下生）から問答の回答を募集しております。
下記の間答で回答を募集しておりますので、我こそはと思われる先生は、ぜひともご応募ください。

傷害予防問答 ㊦

小児科臨床医であれば、ミニトマトによる窒息死、浴槽での溺死、睡眠中の突然死などの子どもを看取ったことがあるはずである。長期に生存していれば、治療しながら家族と関わりを持つことができる。一方、救急搬送され、心肺蘇生をしたが心拍は戻らず、来院後数時間で死亡する場合もある。死亡直後には、来院後の処置や死亡までの経緯について遺族に話をし、その後、警察に通報する。その後、遺族と連絡をとったことがありますか？ 小児科医として、遺族に対してどのような関わりをしてきましたか？ また、どのような関わりが望ましいと思いますか？

- ・名前は匿名でも結構です。
- ・回答についての文字制限等は特にございませぬ。
- ・回答については一つのお題でも、複数のお題についてお答えいただいてもかまいません。
- ・回答は、編集部で選考のうえ掲載させていただきます。

回答は、メールまたは郵送でお待ちしております。

「やまなか傷害予防道場」宛 E-mail : journal@shoni-iji.com

郵送 : 〒160-8306 東京都新宿区西新宿5-25-11-2F